

## ① 復元の考え方

(福井城坤櫓等復元整備検討委員会で議論)

### 【坤櫓・土塀】

- ・福井城址の歴史的価値を踏まえ、県都のシンボルとなるよう、古写真や絵図等に基づき、往時の姿を体感できる**史実性の高い復元を目指す**
- ・櫓の耐震・耐火性能は、現在の基準に対応するため、**建築基準法に基づき設計**
- ・誰もが坤櫓を見学できるよう、バリアフリーに配慮

### 【石垣】

- ・現存する石垣を極力保存していくこととし、櫓部周辺は、大規模地震に対応した補強工事を実施
- ・土塀部分(人が立ち入らない箇所)は、石垣を極力積み直さずに保存する工法(間詰石など)を採用

## ② 事業の概要

内容:坤櫓、本丸西側土塀の復元

場所:福井城址本丸の南西角

事業費:**39.6億円**(令和7年度:5.5億円)

国の補助金を最大限活用予定

事業期間:**令和5~11年度**(7年間)

スケジュール

令和5年度 基本設計・石垣調査  
令和6年度 実施設計・石垣補強設計

**令和7年度 工事着手**

- ・仮設ヤード整備工事  
(御本城橋~御廊下橋間の堀締め切り)
- ・埋蔵文化財調査
- ・石垣補強工事(~R8年度)
- ・坤櫓・土塀木材先行調達(~R9年度)

令和8年度 坤櫓・土塀復元建築工事(~R11年度)

**令和11年度 完成・供用開始**

## ③ 復元工事の内容

### 【坤櫓】

- ・**木造高さ16m**【参考】丸岡城12m、越前大野城14.5m
- ・外観は3層5階建て
- ・屋根瓦には耐震対策(軽量化)や維持管理の観点から、チタン瓦を採用
- ・内部は建築基準法に基づき、3階建て。往時の2,4階は梁材で表現。3階は原則、立入禁止
- ・柱や壁には県産木材(スキ、ヒノキ)を活用
- ・室内階段には車椅子用昇降機を設置
- ・櫓内部の展示や利活用イベントの詳細は今後検討

### 【土塀】

- ・**高さ2.5m、延長106m**(坤櫓~山里口御門)
- ・腰板には県民から募集予定の笏谷石を活用

### 【石垣】

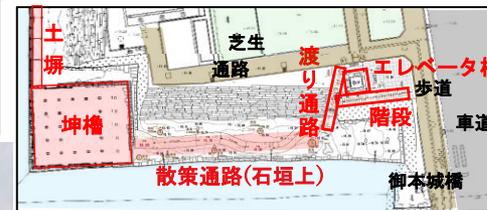
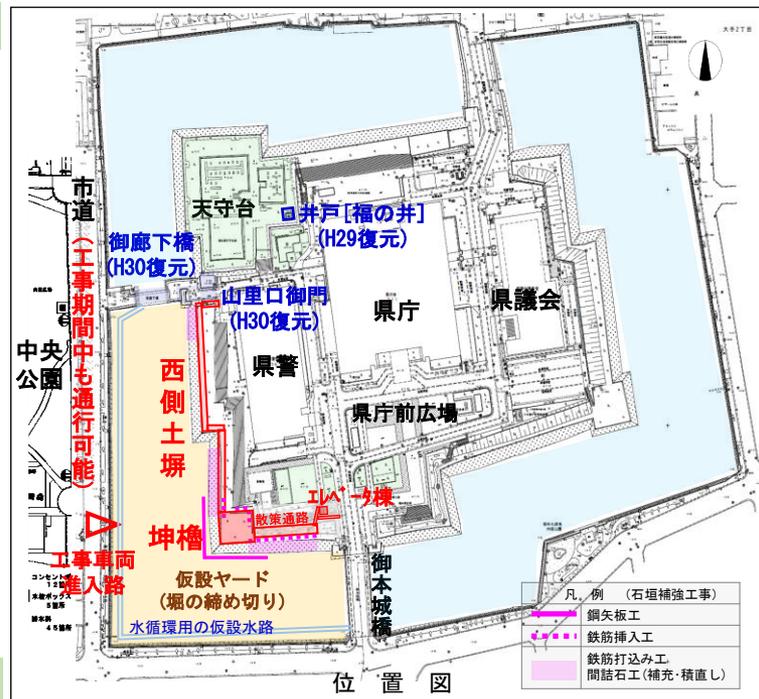
- ・坤櫓部 鋼矢板工、鉄筋挿入工。杭基礎で櫓を支持
- ・土塀部分他 鉄筋打込み工、間詰石工(補充・積直し)

### 【外構】

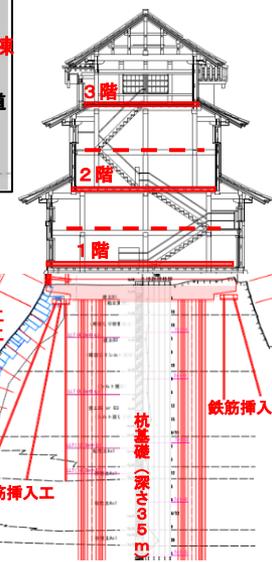
- ・石垣上にあがる**エレベータ棟・渡り通路・階段を設置**
- ・石垣上に散策通路を設置

## ④ 復元に向けた気運醸成

- ・福井城址の魅力を多くの方に周知し、気運を高めていくため、復元に活用する寄附金を募集
- ・復元募金、ふるさと納税、クラウドファンディング  
⇒**令和7年2月3日現在 約550万円(714名)**



位置図 拡大図



坤櫓 立面図(東側より)



福井駅前広場から見えるイメージ